授業科目名	海外研修A (Overseas Study Program A)	担当教員	教授　岩田　　淳
開講年次･学期	医学科1-2年、看護学科1年生･春休み中	必修/選択	自由
開講形態	実習	時間数/単位数	医学科40時間･看護学科1単位

学習目標

本研修は、医学部がニュージーランドのWaikato Institute of Technology(WINTEC)の国際交流課、英語学部、健康学部と協力し、本学部の医学科1-2年生、看護学科1年生を対象に、春休み中に実施する海外研修プログラムです。実習日程は3月初旬～中旬を予定しています。研修の説明会、参加者募集を10月初旬に行う予定です。なお、コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、3月下旬にオンラインで実施する予定です。

*本科目は医学部の英語教育高度化プログラム「Advanced English Skills Course」の対象科目です。在学中に本コースの科目群から合計120時間(看護学科3単位)以上履修した学生には修了認定証(Certificate for Advanced English Skills)が授与されます。

ディプローマポリシーとの関連

＜医学科＞
4. 医療人に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。
12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。
＜看護学科＞
1. 豊かな人間性と高い倫理観を備え、人間、健康、社会･文化に対する深い理解と見識に基づいた看護を提供することができる。
6. 社会における保健･医療･福祉の充実と発展に貢献するために、広い国際的視野をもつことができる。

学修成果(到達目標)

(1)基礎的な英語コミュニケーション能力と専門英語(医学英語、看護英語)の基礎力向上をはかり、(2)海外の医療教育機関や施設の見学を通じて、医療に関する知識や視野を広げ、(3)ホームステイ等による異文化交流体験を通じて国際性を養うことを目的としている。

キーワード

英語コミュニケーションスキル、専門(医学･看護)英語

授業の進め方

研修期間中には次のような活動を行います。
･英語学習(日常英会話･基礎的な医学英語/看護英語)
･施設見学(クリニック、病院、高齢者施設、ホスピス、助産施設等)
･講義(ニュージーランドの医療制度等)
･他国からの留学生との交流
･各種イベント(歓迎･お別れパーティー、週末観光等)

評価方法

事前指導, 事後指導, 研修報告書及び報告会での発表により評価する。

合否基準

上記の評価方法により合否を判定する。

教科書･参考書

本研修に参加する学生は、事前指導としてアドバンスト･イングリッシュ･スキルコースの「海外留学セミナー(Seminar on Overseas Study)」(後期)の履修を必須とします。

オフィスアワー

本研修に関する問い合わせは国際交流推進室または医学英語教育学講座まで。

コア・カリとの関連
＜医学科＞ A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。 A-7-2) 国際医療への貢献 ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ②地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ③保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。 ＜看護学科＞ A-4-1) コミュニケーションと支援における相互の関係性 ① 看護において、コミュニケーションが人々との相互の関係に影響することを理解できる。 ② 人々との相互の関係を成立させるために必要とされるコミュニケーション技法について説明できる。 ③ 自分の傾向がわかり、自分の課題を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 A-7-3) 国際社会・多様な文化における看護職の役割 ① 国際社会における保健・医療・福祉の現状と課題について理解できる。 ② 多様な文化背景をもつ人々の生活の支援に必要な能力を理解できる。 ③ 国際社会における健康課題と戦略を理解し、今後の看護職に求められる役割や責任について考察できる。